

2020年度(令和2年度) 事業報告書

2021年2月

滋賀県大津市大萱六丁目1

総合型地域スポーツクラブ

特定非営利活動法人瀬田漕艇倶楽部

代表理事 黒田 士朗



2020年1月19日 第32回全国マシンローイング大会近畿ブロック大会

[1] 2020年度活動報告

1特定非営利活動

2020年度定期総会にて以下の目標を掲げ、年間活動に取り組んだ。

- 1.全体 倶楽部理念や建設の趣旨に沿ったFurukawa Houseの活用を検討・実践し、世代を超えた会員間の交流や他団体との交流を活発化する。
三大事業を中心に運営を進める。より良い倶楽部運営体制の検討。
認定NPO法人への寄附金優遇税制を活かした、賛助会員の拡大策の検討・実施。
- 2.安全 (1) 安全規則の随時見直し(初版2005年)。
(2) 安全講習会実施、沈回復の練習会の実施。
(3) インシデント・アクシデントレポート作成の推進。
- 3.保全 整理整頓という基本的な事を皆で行える様、まずはあるべき姿を管理、そしてそれを維持する所から取り掛かる。またクラブの設備・備品で経年劣化して来ているものについて、皆でそれらに対する情報や意識を共有できる様になる。
- 4.施設 老朽化した所の対応、使い勝手を見直した修繕計画と備品購入計画。
- 5.事務 各担当者との連携による円滑な事務作業。事務局のあり方検討とより良い倶楽部運営への貢献策
- 6.特別 びわこ市民レガッタの参加者100クルー(500人)以上。地元企業、自治体、自治会から募る。
Head Of The SETAの参加者800人以上。各ボート団体への個別交渉。
近畿マシンローイングA大会を運営し、参加者1,000人以上。
三大事業合計150万円以上の収支を得る。
プロ(有給)コーチによる、小学生ボート教室や会員向けコーチングを継続・拡大する。
- 7.普及 ボート・ドラゴンボート・カヌーの体験教室をクラブ全体で運営し、年250人を目標とする。新たな普及活動を検討・実行していく
- 8.収益 ウェブを活用して、年間50万の収益確保に取り組む。
新たな収益財源確保に向けて具体案を検討する
- 9.財務 正・賛助会員拡大に向けてのツール作成。会計フローの整理・定着化。
- 10.広報 月一回の確実な会報発行。
- 11.活動 倶楽部運営収支100万円、NPO事業収支200万円、収益事業収支50万円の計350万円の現金収支を確保するための、工夫・新たな取り組みを計画、実行
選手チームは、全日本選手権でのメダル獲得を目標とする。選手層のメンバー獲得を推進する。
杉藤コーチの指導のもと、競技力強化、魅力ある選手チーム作りを進める。

【総括】

2020年度、本来であれば東京オリンピックが開催され、世界トップクラスのNZオリンピックチームが事前合宿で艇庫を利用し、世界トップクラスの漕ぎ、雰囲気を感じられるはずであったがコロナウイルスのために多くの事業が中止となる。また、4月4日から5月19日までコロナ感染対策の一環として倶楽部活動を自粛。再開後も練習道具の消毒、三密回避等各自の感染予防対策を実施。倶楽部員の皆様には大変なご負担をかける。

この中で実施された事業は1月に900人以上を集めたマシンローイング大会、ジュニアボート教室、「しがスポーツ大使」としての冬季のマシンローイング教室の開催が主なもの。びわこ市民レガッタ、Head Of The Seta等の事業は中止。国からの持続化給付金2,000千円を申請し認可、受領。今年度はコロナウイルス感染に注意を払い、事業を実施予定。実施にあたっては倶楽部員の多くの方の知恵・経験と協力が今まで以上に必要になる年となる。

競技活動においても多くの大会が中止となったが、西日本選手権女子1×でワンツーフィニッシュ、全日本選手権では女子1×(西原)が3位と2年連続で表彰台に登る等の素晴らしい実績を挙げてくれた。実業団チーム、大学運動部に比べ制約も多い中で、杉藤コーチによる指導体制をさらに強化し、倶楽部設立当初から掲げている「チャンピオンクルーから日曜スカラーまで」を実現するため「チャンピオンクルーの育成」の取り組みを着実に前に進めることが、当面の課題である。その為には、コーチや選手の努力だけでなく、多くの会員の積極

的な支援・応援が必要であり、多くの会員が支援・応援したくなるようなチームであること、そう思えるような選手達の熱意や行動が必要であるとする。

整備面においては艇庫東側の整地が完了。またアネックス裏の湿地も整地が完了。倶楽部員の方々のご寄付と作業へのご協力には感謝。整地面の活用、艇庫の下、船台の下の整地が出来るように進めて行きたい。

2020年度のNPO事業は▲660万円の赤字予算であったが、▲580万円の赤字となる。アネックス屋根塗装未実施(本館塗装、隣地埋立等は実施)があるがコロナウイルスの感染防止のため事業が行われず、収入源が限られていたなか会員の皆さまからの整地事業での寄付金160万円、給付金200万円が大きく寄与。

2020年度末の会員数は、正会員145名(家族会員24名)、賛助会員69名で、昨年度末から正会員は▲21名減少。例年に比して新入会員の入会が、コロナウイルス感染予防のための倶楽部活動自粛期間もあり9名と少なかったと考えられる。

(1)ボート等競技大会開催或いは開催支援活動

① ボート競技大会開催

全国マシニング大会近畿大会(2020年1月19日)

今大会も、ウカルちゃんアリーナ(滋賀県立体育館)で開催。本大会は、903名の事前エントリーがあった。今大会では、カナダより2名の選手を招待した。Julien Bahain氏はオリンピックや大西洋横断の経験などを講演し、Charles Alexander氏は日本国内初となる2000m5分57秒という新記録を出した。エリートレースで観客を魅了すると共に、会場で日本人選手との交流を行った。

演出部門では新たにDJの生演奏を行った。仙石幸一さんによるMCと、照明での演出も用いて、会場全体を盛り上げる取り組みをした。

また、今大会も2000m測定以外のイベントを複数実施した。カップルスライドエルゴでは、優勝賞品であるSwift Racing様提供のコースタル艇をかけて、男女ペアで1000mの速さを競った。大阪府立大学のペアが優勝し、豪華景品を手に入れた。他にも、NTT東日本漕艇部コックスの佐々野選手と関西大学コックスの川崎選手によるトークセッションや、メイクアップアーティスト川本詩音さんによるアートメイクなどを実施。ただ測定するだけではない、新たな文化を展開することができた。

全体での収入は186.6万円(昨年348.7万円)、支出は154.0万円(昨年252.6万円)で、収支は32.6万円(昨年96.0万円)であった。今年はホストタウン交流事業を行わなかった為、昨年より収支が減少した。エントリーの増加やスポンサー獲得で収入を増加させ、安定して収益が出せる大会運営が必要。

第15回びわこ市民レガッタ

今大会は、新型コロナウイルス蔓延が収束する気配もなかったためやむなく中止した。中止を判断した主な理由は以下の通りである。

- ・ 漕艇場が改修工事中であり、参加者の待機場所が狭く密の状態になる
- ・ 各クルーが乗換えるごとに配艇とオールの洗浄・消毒をする必要があり、レースの円滑な進行に影響を与える

大会中止としたため、収入・支出ともゼロであり、残念ながらクラブ運営に貢献することができなかった。

次回(2021年)の開催予定日は、9月12日である。オックスフォード盾・全日本大学選手権と開催日が重なるため、OB/OGの参加が減少する可能性もあるが、多くの方が参加できるよう、運営案を練り上げていきたい。

クラブ員の皆さまには、当日のスタッフ従事や練習会・準備へのご対応をいただけるよう、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

第29回 HEAD OF THE SETA

今大会は、新型コロナウイルス蔓延が収束する気配もなくやむなく中止。収入、支出共にゼロであり収益面での貢献は出来なかった。2021年は11月13日、14日開催予定。実行委員長も交代しており倶楽部員皆様の協力をお願いしたい。

② ボート競技会等開催支援活動

ボート競技会等の開催支援

ボート競技では滋賀県県民体育大会、高校秋季総体に審判を派遣した。

(2) ボート競技の指導等・普及に関わる事業活動

① セミナー・講習会の開催

2020朝日レガッタコーチセミナー兼公認スポーツ指導者義務研修会

新型コロナウイルスによる大会中止に伴い、コーチセミナーの開催も中止とした。

③ 水上スポーツ教室の開催等

初心者ボート体験教室(2020年7～11月毎月第2、4日曜日)

通常は5月から開催しているが、5月、6月は活動自粛となったため、7月から11月の活動期間となった。また、びわこ市民レガッタも中止となり、この練習としての利用もなくなった。このため、例年、延べ約100名の利用があるが今年度は約30名にとどまった。それでも初心者として参加された方にはエルゴメーターを使用して基本動作の練習と艇の基本的な扱いを説明した後に乗艇を体験してもらい、ローイングの楽しさや湖上からの眺めを楽しんでいただいた。また、ドラゴンボートの利用についても、6名と少なくなった。

引き続き参加者に水上スポーツの魅力を伝え、幅広い年代の会員増につなげられるよう貢献していきたい。(収入実績: 2018年約21万円、2019年約22万円、2020年約7万円)

ドラゴンボート体験(セタシジミ祭)

2020年の「セタシジミ祭」は、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

ジュニアボート教室

滋賀レイクスターズとのコラボレーションで実施している地域の小学生対象のボート教室。事務局としての仕事をレイクスターズが担い、指導面を杉藤コーチが中心に、スタッフ調整を猪飼さんが中心にとなり、マネジメントを行なって実施した。

ジュニアボート教室の指導内容については、杉藤コーチのバリエーションある指導内容を基に、毎回充実した指導を行えている。しかし来年度の生徒は現状1名であり増員を含め滋賀レイクスターズと協議が必要。

(3) 水上スポーツ活動の支援

安全管理に関する活動

① 安全講習会の開催(3/29) 出席者42名

実際に琵琶湖で起きた事故を元に、安全なクラブ活動を再度呼びかけ。

琵琶湖における航路の確認と瀬田川航行ルールの確認。

② 沈没回復練習会については有志による実施。

③ 琵琶湖漕艇場からの注意喚起メールを会員に転送。

→瀬田川及び琵琶湖での工事や藻刈り作業、及び洗堰の全開放流時の連絡。

④ 水上事故のフォロー

安全講習会

県ボート協会主催の安全講習会に参加。(12月オンライン)

→事事故例を水域使用団体に報告

アクシデント・レポートの作成(随時)

乗艇中に事故を起こした会員は、アクシデント・レポートの提出

安全規則

2019年度に改正済の全開放流時のルールを修正。

改正前: 洗堰全開放流の場合は瀬田川での練習禁止



ただし、モーターボートによる伴走ある場合は琵琶湖での乗艇は認める。

改正後: 洗堰全開放流の場合は乗艇禁止。

ただし、①モーターボートによる伴走ある場合は琵琶湖での乗艇は認める。

②一定の条件(※)を満たす漕手については特に認める。(琵琶湖のみ)

※A:クラブ内もしくは県ボ主催安全講習会参加

B:エルゴスコア2000m8分45秒以内

C:1×での1000mタイム5分以内

上記ABCを全て満たす場合は理事承認の下で認める。

②については、クルーボート乗艇については、クルー全員が条件を達成できていること。

(通常の練習の範囲内で達成できていれば、そのスコア提示すればOKとする)

平日シニア組の冬期乗艇自主ルールについて

練習中に仲間を亡くすという悲しい過去の経験を二度と繰り返したく無いという思いから、平日シニア組は冬期における乗艇自主ルールを策定し、守って頂いています。

以下自主ルールの抜粋

- ① ヤフーなどの天気予報で朝の9時が5度以下 乗艇禁止
5度以上 水温10度以下 シングルスカルはコースのみ
- ② 乗艇前にストレッチ エルゴで体を温める
- ③ 携帯 ホイッスル 所持
- ④ 救助方法の確認 漕艇場 か 救急車か

(4) ボートに関する情報発信

クラブの月刊機関紙「漕艇通信」(会報)の月末発行、ホームページを活用した情報発信等を行い、クラブの活動に関する最近の情報を提供した。引き続き、「漕艇通信」はホームページ上で公開している。

(5) 選手競技活動

各大会が見送りとなり本シーズンとしては西日本選手権、全日本選手権の2レースのみの活動となった。

女子は嶋美陽がシングルスカルで全日本選手権に出場したが敗者復活戦敗退

男子は舵手付きフォアとして全日本選手権に出場 敗者復活戦敗退と厳しい結果になった。

全日本選手権における同種目の出場は初の試みであり、新しいトレーニング状況確立に苦戦した。結果としては選手能力底上げにはわずかながら前進が見られた。

プリントバック西原佳が全日本選手権で女子シングルスカル3位入賞を果たしたが

昨年より順位をひとつ落とす結果になってしまった。

また日本代表選考レースにも出場したが3位となり代表権獲得には至らなかった。

(6) その他の活動

① プロコーチ杉藤氏によるコーチング

年額270万円(年300セッション)を毎月按分する形で、杉藤コーチにお支払いをしている。シーズン中は週6回1時間半～2時間程度のコーチングの日を設置。マスターズメンバーへのコーチング(週1回)、選手チームのコーチング(週2回)及び年間のメニュー等作成、ジュニアボート教室でのメインコーチとして活動(週1回)以外に、高校生を対象に、毎週月曜日と木曜日の夕方にコーチング(週2回)をしていただいている。また、今年度は、不定期で週末しか参加できない会員に対してのコーチングを実施した。

毎月の活動内容(指導方針・指導日数)については、杉藤コーチより月報を提出していただいているが、現状の運用の課題や選手からの要望などを伺いながら、コーチングの内容について随時協議を進めながら運営を行っていく。

今期においてはシニアチーム中心の指導。定期的に理事と面談を行い選手間とのパイプとなり、環境を整えていく予定。

② 全員集合日の実施

月例全員集合日を実施した。清掃/艇整備/施設補修などをおこなった。コロナ禍の影響によりクラブに集合できずに毎月実施できなかったが、ANNEXの東側のドラゴン置き場の屋根と壁の更新や、更に東側に広がる土地の開墾・整地を行い、クラブ敷地内の整理・整頓を進める事が出来た。

③ 施設関連実施事項

日常のメンテナンスを実施した。各所不具合対応、備品の購入など

2020年度実施工事関係

1/27～2/26

本棟:外装塗装工事

本棟:2階トレーニング室エアコン設置工事

Fハウス:西側排煙オペレータ改修工事

3/30 Fハウス:玄関窓塗装工事

6/15～6/18 外構:本棟東側整地工事

6/13～6/28 アネックス棟:西側屋根葺き替え工事

7/15 本棟:女子シャワー室スイッチ改修工事

8/2 アネックス棟:西側屋根下整地工事

8/23～11/1 外構:アネックス屋根西側整地工事

12/4 本棟:2階更衣室(男女共)24時間換気設置工事

12/10 大津市による不法投棄船撤去

12/18～1/15 ごみコンテナ設置による不要品整理

④ 大会への役員派遣

関西ボート連盟、滋賀県ボート協会、京都ボート協会、大阪ボート協会、大津市ボート協会等主催の大会にて、役員活動を行なった。

⑤ メディア出演等

1月22日 京都新聞 地域面 タイム みんなちがってみんないい

※杉藤さんが近畿マシニング大会の招待選手について紹介

1月24日 FISA(国際ボート連盟)HP Alexander sets record at Japan's indoor rowing championships

1月28日 TV大阪 やさしいニュース 「やさスポ」 ボートも仕事も全力!五輪目指す23歳

※仕事と両立しながら東京五輪を目指す西原佳選手を紹介

2月12日付 読売新聞 地域面 ボートマシン タイム競う 大津で大会900人参加

レイクスマガジンVol 101 2月号 レイクスアスリートタイムズ Vol 11

ついに国内初“6分切り”が飛び出した。国内最大規模のマシンローイング大会
月刊Rowing No555 2019年12月号 ※Head of The Setaが表紙に登場

3月13日 びわ湖放送 SOSE編集部

ゲームコンダクターSHIGAを紹介する際に近畿マシンローイング大会が登場

3月14日 毎日放送 せやねん オリンピック代表を目指す西原選手を紹介

レイクスマガジンVol 102 3月号 特集スポーツのある日々 連携 ボートスクール

滋賀レイクスターズと連携して実施しているジュニアボート教室を紹介

9月29日 京都新聞 1面 東京五輪の風 第14部コロナの陰影

新型コロナウイルス感染症の影響により受け入れ対応の再調整に杉藤コーチが奔走する様子を紹介

11月26日 NHKニュース6 NHK News WEB 感染対策ホストタウンが作成し選手団と合意を

新型コロナウイルス感染症の影響により、感染対策の対応を模索する様子を紹介

2収益事業活動

マシンローイング大会にて払下げエルゴ11台の販売が貢献したものの、朝日レガッタは中止となり、関連事業(Tシャツ販売、出店、ミニFMレンタル)がなく、粗利は24.4万円(アパレル1.3万円、エルゴ15.5万円、NK5.5万円など)で目標の40万円には届かなかった。共通経費と法人税を差し引いた最終収支は6.5万円であった。

2021年度はマシンローイング大会が開催されず、払下げエルゴの販売は見込めない。また、朝日レガッタは開催される方向で進んではいるものの、無観客となる可能性があり、その場合は出店が難しい状況となる。朝日レガッタFM機器レンタルは、ライブストリーミングへの移行を提案しているものの、現時点では採用されるか未定である。

2020年活動まとめ

実施時期	実施場所	事業名	倶楽部員 従事人数	受益対象者
1/19(日) 大会前後数日	滋賀県立体育館	第32回全国マシンローイング 大会 近畿ブロックA大会	約90名	参加者903名 中学生ボート部員188名 高校生ボート部員226名
2/24(月)	瀬田漕艇倶楽部	定期総会	出席46名 委任51名	正会員168名
4月下旬 (新型コロナで中止)	瀬田川	第35回セタシジミ祭 (ドラゴンボート体験)		
5/3(日) (新型コロナで中止)	瀬田漕艇倶楽部	コーチセミナー		
9/13(日) (新型コロナで中止)	琵琶湖漕艇場	第15回びわこ市民レガッタ		
11/14(土)-15(日) (新型コロナで中止)	瀬田川	第30回Head of The Seta		
7～11月 第2,4日曜日	瀬田漕艇倶楽部 琵琶湖漕艇場	初心者ボート体験教室 (ドラゴンボート利用含む)		一般市民35名 (内ドラゴンボート6名)
1～12月 (4,5月を除く)	瀬田漕艇倶楽部 琵琶湖漕艇場	ジュニアボート教室		地域小学生7名

倶楽部会員数

	会員数 2019年12月31日	1年間の入会数	1年間の退会数	会員数 2020年12月31日
正会員(家族会員)	166 (26)	9(1)	30(3)	145(24)
賛助会員	69	6	6	69
合計	235 (26)	15(1)	36(3)	214(24)

2020年度競技活動結果

☆全国マシローイング大会関東ブロック大会☆12月22日

男子50歳～59歳オープン 京基樹 7分06秒7(パルテ会)

☆全国マシローイング大会近畿ブロック大会☆1月19日

12歳以下 元安梓(滋賀レイクスターズ)5分05秒8 ※1,000m

男子13歳～15歳 范哲綸(New Taipei City Rowing Team)6分56秒2

男子16歳～18歳 大山翔平 7分01秒8、井上貴登 7分31秒1

女子19歳～29歳軽量級 嶋美陽 7分58秒0、田中夏実(龍谷大学)8分18秒8

男子19歳～29歳軽量級 東田和季(東レ滋賀)6分34秒9、飯田竜馬 6分50秒7、
高谷祐毅 7分00秒4、張鎮泓(New Taipei City Rowing Team)7分18秒3
蔡文軒(New Taipei City Rowing Team)7分31秒8

女子19歳～29歳オープン 西原佳(プリントパック)7分21秒1、Karoline Hauerbach (DSR)7分41秒9

男子19歳～29歳オープン Charles Alexander (Canada 招待選手)5分57秒5

Lars Garvey 6分08秒1、南條翔也 6分44秒0

男子30歳～39歳軽量級 家村宜樹 6分44秒5、椎名孝行(横浜漕艇倶楽部埼玉) 6分46秒8

男子30歳～39歳オープン Julien Bahain (Canada 招待選手)6分00秒6、奥村強司 6分55秒1

男子40歳～49歳軽量級 大越将洋 7分22秒9、狩谷悟史 7分36秒9、元安崇 8分10秒2

男子50歳～59歳軽量級 田中彰 7分14秒0、今城律雄 7分39秒1、太田俊二 7分59秒1

男子50歳～59歳オープン 杉森勇吾 6分49秒0、京基樹 7分13秒9、
矢地洋二(やじきた治療院)7分16秒2、奥城哲郎 7分28秒1

男子60歳～69歳軽量級 尾崎準 7分58秒7

男子70歳以上 安達温二 7分31秒4

女子70歳以上 中西雅子 10分31秒5

☆全国マシローイング大会富山大会☆1月25日

40歳～49歳オープン 武良美 8分24秒0

☆大津市民駅伝☆2月2日

一般クラブの部 瀬田漕艇クラブA 4位(1時間31分12秒)

家村 (1区4.2km 3位15分15秒)・山本恭(2区1.6km 5位5分56秒)

池端 (3区6.0km 4位23分07秒)・山口将(4区4.4km 2位16分17秒)

西原 (5区1.6km 5位6分23秒)・高谷 (6区6.0km 7位24分14秒)

一般クラブの部 瀬田漕艇クラブB 11位(1時間45分15秒)

根岸 (1区4.2km 9位17分56秒)・狩谷 (2区1.6km 10位6分32秒)

井上貴(3区6.0km 14位30分41秒)・京 (4区4.4km 8位18分38秒)

嶋 (5区1.6km 6位6分25秒)・大山 (6区6.0km 8位25分03秒)

☆全国高体連通信制20分エルゴ記録☆2月11日

高校男子 井上貴 5139m 570位 ※順位は全国順位

☆エルゴメータートライアル(代表選考)☆2月23日

女子オープン 西原(プリントパック) 7分14秒8 5位(総合6位)

☆日本代表候補最終選考レース予選タイムトライアル☆3月12日

女子オープン1× 西原(プリントパック) 2位(女子全体3位) ※日本代表候補選考レースに進出

☆日本代表候補選考レース☆3月20日～22日

女子オープン1× 西原(プリントパック) 3位

☆滋賀県高等学校夏季体育大会☆7月19日

男子1× 井上貴 3位

☆滋賀県ジュニア選手権☆8月22日

男子2× 井上貴 松田 4位

☆滋賀県民体育大会☆9月5日～6日

男子1× 家村 5位
男子1×60歳未満 田中彰 1位
男子1×60歳以上 安達 1位、尾崎準 2位
女子1×60歳以上 長瀬 1位
男子2×60歳以上 木村祐 下村 1位
女子2×60歳以上 中西雅 太田弘 1位
マスターズ男子8+ 坂本春 狩谷 木村俊 武良美 木下 東暢子 上坂 木所 植田 1位
中村眞 黒田 京 竹内 尾崎幸 安藤 盛田道 青木博 副島 2位

☆西日本選手権☆9月26日～27日

男子1× 井上貴 B決勝 3位(全体 9位)
女子1× 西原(プリントパック) 優勝、嶋 準優勝
男子4+ 橋爪 倉本 根岸 鈴木 山口将 B決勝 1位(全体 7位)

☆京都レガッタ☆9月27日

一般男子1× 家村 B決勝 2位(全体 8位)
マスターズ男子1× 安達 優勝、深田 4位
マスターズ女子1× 武良美 優勝、長瀬 準優勝、八木 3位
男子2× 飯田 山本恭 準優勝
女子2× 中西 太田弘 3位
混合2× 田中彰 田中明 優勝、下村 木村祐 準優勝、尾崎準 尾崎幸 4位
マスターズ女子ナックル 太田弘 木村祐 上坂 小島 中出 3位
男子8+ 中村眞 狩谷 木村俊 黒田 高橋 宇野 京 青木博 木所 3位

☆全日本選手権☆10月8日～11日

女子1× 西原(プリントパック) 3位、嶋 敗者復活A組 3位
男子4+ 香川 倉本 根岸 鈴木 山口将 敗者復活C組 3位

☆HAT 神戸レガッタ☆10月18日

成年男子1× 安達 準優勝、下村 6位、鵜瀬 10位、尾崎準 16位
成年女子1× 本郷花 優勝

☆Head of the JINZU☆11月3日

オープン男子(1×) 安達 3位(全体 31位)、京 5位(全体 37位)、下村 6位(全体 44位)、
鵜瀬 8位(全体 61位)
オープン女子(1×) 武良美 1位(全体 75位)、長瀬 2位(全体 77位)
チームボート 宇野 太田弘 上坂 中村眞(4×) 5位(全体 49位)、
中西 武良誠(2×) 6位(全体 56位)、尾崎準 尾崎幸(2×) 9位(全体 66位)
中出 木村祐(2×) 13位(全体 80位)

[2] 2020年度会計報告

1.2020年度「特定非営利活動に係わる事業会計」活動計算書 (単位:円)

令和2年度「特定非営利活動に係わる事業会計」活動計算書

(H2JNPO会計基準で表示)

科 目	令和2年1月1日から令和2年12月31日まで					
	予算額		決算額		差異	
I 経常収入の部						
1 会費、入会金収入						
会費	5,240,000		5,227,500		△ 12,500	
入会金	600,000	5,840,000	240,000	5,467,500	△ 360,000	△ 372,500
2 受取寄付金						
賛助金(個人)	414,000		402,000		△ 12,000	
賛助金(法人)	200,000		100,000		△ 100,000	
一般寄付金(その他)	0	614,000	1,615,000	2,117,000	1,615,000	1,503,000
3 受取助成金						
受取助成金・補助金	0	0	2,320,000	2,320,000	2,320,000	2,320,000
4 事業収入						
1 マシンローイング近畿大会	1,921,500		1,635,760		△ 285,740	
2 びわこ市民レガッタ	600,000		0		△ 600,000	
3 Head Of The Seta	1,350,000		0		△ 1,350,000	
4 市民教室(体験教室)	300,000		70,000		△ 230,000	
5 朝日レガッタコーチセミナー	100,000		0		△ 100,000	
6 レガッタ支援(全国市町村レガッタ)	0		0		0	
7 イベント支援(しじみ祭り)	100,000		0		△ 100,000	
8 クラブコーチ事業	700,000		657,000		△ 43,000	
9 MRエアロビ教室	0		18,900		18,900	
10 他団体受入事業(合宿等)	268,000		283,281		15,281	
11 NZ合宿受入事業	500,000		0		△ 500,000	
12 しがスポーツ大使事業	0		87,500		87,500	
13 スポット事業	0		0		0	
その他	120,000		0		△ 120,000	
		5,959,500		2,752,441		△ 3,207,059
3 その他収益						
受取利息	0		1,421		1,421	
雑収益	0	0	22,440	23,861	22,440	23,861
経常収入合計		12,413,500		12,580,802		267,302
II 経常支出の部						
1 事業費						
1 マシンローイング近畿大会	1,615,000		1,540,635		△ 74,365	
2 びわこ市民レガッタ	500,000		0		△ 500,000	
3 Head Of The Seta	600,000		0		△ 600,000	
4 市民教室(体験教室)	250,000		10,450		△ 239,550	
5 朝日レガッタコーチセミナー	60,000		0		△ 60,000	
6 レガッタ支援(全国市町村レガッタ)	0		0		0	
7 イベント支援(しじみ祭り)	0		0		0	
8 クラブコーチ事業	2,700,000		2,522,640		△ 177,360	
9 MRエアロビ教室	0		0		0	
10 他団体受入事業(合宿等)	0		0		0	
11 NZ合宿受入事業	100,000		0		△ 100,000	
12 しがスポーツ大使事業	0		0		0	
13 スポット事業	0		0		0	
その他	50,000		0		△ 50,000	
		5,875,000		4,073,725		△ 1,801,275
2 管理費(倶楽部運営、管理諸費用)						
給料手当	700,000		667,500		△ 32,500	
レクレーション費	50,000		2,475		△ 47,525	
会誌発行費	280,000		206,362		△ 73,638	
会議費	30,000		14,179		△ 15,821	
交際費	20,000		6,430		△ 13,570	
通信運搬費	30,000		16,725		△ 13,275	
消耗品費	550,000		670,048		120,048	
保全費	420,000		902,676		482,676	
施設費	800,000		951,247		151,247	
水道光熱費	700,000		532,788		△ 167,212	
減価償却費	3,500,000		3,549,007		49,007	
保険料	150,000		148,996		△ 1,004	
諸会費	0		27,200		27,200	
租税公課	600,000		657,500		57,500	
支払手数料	30,000		11,690		△ 18,310	
広告費	20,000		0		△ 20,000	
強化費	550,000		58,084		△ 491,916	
選手登録費	75,000		65,000		△ 10,000	
雑費	150,000		0		0	
予備費		8,655,000		8,487,907		△ 167,093
経常支出合計		14,530,000		12,561,632		△ 1,968,368
III 経常外収益の部		0	0	0		0
IV 経常外費用の部						
経常外増減額		0		0		0
経理区分振替額						
収益会計より繰入	0	0	0	0	0	0
税引前当期正味財産増減額		△ 2,116,500		119,170		2,235,670
前期繰越正味財産		94,632,229		94,632,229		0
当期正味財産合計		92,515,729		94,751,399		2,235,670

※別紙1参照

2. 2020年度「特定非営利活動に係わる事業会計」貸借対照表 (単位:円)

令和2年度「特定非営利活動に係わる事業会計」貸借対照表

令和2年12月31日現在

特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部

(単位 : 円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	99,518	
普通預金	19,478,083	
流動資産 合計		19,577,601
2 固定資産		
建物	31,619,628	
構築物	3,136,066	
艇	690,719	
備品	779,012	
土地	24,000,000	
固定資産 合計		60,225,425
3 投資その他の資産		
艇庫積立金	15,032,885	
長期前払費用	276,216	
固定資産 合計		15,309,101
資産合計		95,112,127
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	225,000	
預り金	135,728	
流動負債 合計		360,728
2 固定負債		
	0	
負債合計		0
負債合計		360,728
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産額		94,632,229
当期正味財産増加額		119,170
正味財産 合計		94,751,399
負債及び正味財産 合計		95,112,127

令和2年度「収益事業会計」活動計算書

令和2年1月1日から令和2年12月31日まで

特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部
(単位 : 円)

科 目	金 額	
I 経常収益の部		
1 事業収益		
販売、サービス事業収入	2,241,435	2,241,435
2 その他の収益		
預金利息 他	269	269
経常収益 計		2,241,704
II 経常費用の部		
1 事業費		
事業収益原価	1,997,456	1,997,456
2 管理費		
事務通信費	105,032	
その他の経費	2,090	107,122
経常費用 計		2,104,578
当期経常増減額		137,126
経理区分振替額		
収益事業会計振替額		0
税引前当期正味財産増減額		137,126
法人税、住民税及び事業税		72,200
当期正味財産増加額		64,926
前期繰越正味財産額		5,229,036
次期繰越正味財産額		5,293,962

※5.収益事業会計報告 参照

4. 2020年度「収益事業会計」貸借対照表 (単位:円)

令和2年度「収益事業会計」貸借対照表

令和2年12月31日現在

特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部
(単位 : 円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	159,207		
普通預金	5,146,585		
在庫商品	60,370		
売掛金	0		
流動資産 合計		5,366,162	
資産 合計			5,366,162
II 負債の部			
1 流動負債			
未払法人税等	72,200		
流動負債 合計		72,200	
負債 合計			72,200
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産額		5,229,036	
当期正味財産増加額		64,926	
正味財産 合計			5,293,962
負債及び正味財産 合計			5,366,162

収益事業会計報告

(2020年1月1日～2020年12月31日)

総括

前年度繰越

今年度決算

(円)		→	(円)		→
現預金	5,174,316	今年度	現預金	5,305,792	次年度
売掛金・立替金	0	収益活動	売掛金・立替金	0	収益活動
在庫	126,920		在庫	60,370	
固定資産	0		固定資産	0	
NPO事業勘定	0		NPO事業勘定	0	
前受金	0		前受金	0	
未払法人税等	△ 72,200		未払法人税等	△ 72,200	
純資産	5,229,036		純資産	5,293,962	

明細

品名	原価	売上金	粗利益		
			予算	実績	差額
ニールセンケラーマン社製品	339,031	394,400	80,000	55,369	24,631
冊子	1,300	3,500		2,200	△ 2,200
アパレル	65,250	78,100	30,000	12,850	17,150
レンタル事業	0	0	0	0	0
エルゴ	1,583,725	1,738,500	50,000	154,775	△ 104,775
その他(※)	8,150	27,204	40,000	19,054	20,946
合計	1,997,456	2,241,704	200,000	244,248	△ 44,248

雑収入(自販機)	0	11,035	0	11,035	△ 11,035
預金利息	0	14	0	14	△ 14
テント場所受取手数料	0	0	0	0	0
送料差額収入	0	900	0	900	△ 30,940
施設利用料	0	0	0	0	△ 30,940
MR大会スूप販売	8,150	15,000	0	6,850	△ 6,850
その他雑収入	0	255	0	255	△ 255
合計	8,150	27,204	0	19,054	△ 19,054

その他雑収入・・・前年度預金利息の源泉等還付等

共通経費	予算	実績
事務通信費		105,032
その他の経費		2,090
棚卸廃棄損	0	0
合計	0	107,122

特定非営利活動事業会計繰入金		0
未払法人税等(当期分)	72,200	72,200

当期収入額	2,241,704	
売上原価	1,997,456	
	244,248	粗利益
共通経費	107,122	
	137,126	税引前利益
法人税額	72,200	
	64,926	当期利益
特定非営利活動事業会計繰入金	0	
	64,926	収支差額

6. 2020年度 財産目録 令和元年12月31日現在 (単位:円)

令和2年度 財産目録

令和2年12月31日現在

特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部
(単位 : 円)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・預金			
現金 (一般)	99,518		
現金 (収益)	159,207		
普通預金 滋賀銀行 石山支店 No.198794 (一般)	2,314,804		
普通預金 滋賀銀行 瀬田支店 No.522662 (特別)	2,996,083		
普通預金 滋賀銀行 瀬田支店 No.521114 (一般)	91,709		
普通預金 滋賀銀行 石山支店 No.198783 (収益)	1,922,676		
郵便貯金 普通通帳 (一般)	4,494,072		
郵便貯金 大会受付 (一般)	4,264,637		
郵便貯金 会費 (一般)	5,316,778		
郵便貯金 (収益)	3,223,909		
在庫商品(販売商品在庫高)	60,370		
流動資産 合計		24,943,763	
2 固定資産			
固定資産			
艇庫積立金	15,032,885		
建物	31,619,628		
構築物	3,136,066		
艇	690,719		
備品	779,012		
土地	24,000,000		
長期前払費用(火災保険料他)	276,216		
固定資産 合計		75,534,526	
資産合計			100,478,289
II 負債の部			
未払金(R2年請求経費分)	225,000		
未払法人税等	72,200		
預り金(源泉所得税)	127,878		
預り金(スポーツ保険 他)	7,850		
流動負債 合計		432,928	
負債合計			432,928
正味財産			100,045,361

[3] 2020年度監査報告

監事 竹内英子

2020年は日本スポーツ界にとって苦難の年でした。瀬田漕艇倶楽部にとってもニュージーランドナショナルチームの選手を迎えて活発な倶楽部になっていただろうと期待していたが、一年前に起こった全世界での新型コロナウイルスの蔓延で、倶楽部事業の中止、出場する大会の中止、練習の自粛が続き、会員には不完全燃焼の日々を送られたことと思います。新型コロナウイルスの状況によって活動は流動的ですが、私たちは今までと同様に困難な事が起きても、全会員の知恵と総力で解決して理想の倶楽部を目指していきましょう。

2020年はコロナに起因する活動制約の為か、これからの倶楽部を担ってってくれるだろうと思われる多くの若手会員が退会されたことは痛手であるが、明るい話として施設面においてちょうど一年前の総会后、担当理事と会員の協力で素晴らしい環境(河川敷整地)が出来た事が挙げられると思います。寄付をいただいた会員、賛助会員の皆様に御礼を申し上げます。施設に関しては会員の協力で日々の施設維持や美化に取り組んでいただいていることに感謝したい。そして、その取り組みが多く会員へ波及すれば、更に素晴らしい倶楽部になることでしょう。以下に来期の取り組み姿勢として注力頂きたい項目を記します。

・アスリートの育成は倶楽部の重要課題であり、トップ選手がいる倶楽部に入会したいと言う思いを醸成できる倶楽部、また、会員がアスリート志向に向かう姿勢を応援する倶楽部であってほしい。今後も若い人が入会してこそ瀬田漕艇倶楽部が50年後、100年後と存続していくことでしょう。

・生涯スポーツの推進という面においては、平日のリタイア世代のマスターズの活動が活発になっており、週末において現役世代の活動が活発になっている。倶楽部施設の世代を超えた利用を促進し、倶楽部安全規則を順守して心身の健康維持に努めましょう。

・財務の安定は三大事業が開催できるかが鍵を握ることになるが、倶楽部の活動がスムーズに行えるよう、また将来の理想とする倶楽部作りの為に自分たちで財源を生み出していく努力をお願いします。

監事(会計) 太田俊二

- 1 2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、倶楽部創設以来、経験したことがない1年となり、第1波の緊急事態宣言発令期間中は、会員の活動も自粛せざるを得ない状況となった。緊急事態宣言解除後は、感染対策を行い、日常の活動は再開させることができたが、多くの大会が中止となり、びわこ市民レガッタや Head of The Seta などの倶楽部事業も中止せざるを得なかった。国からの持続化給付金の受給や整地工事の寄付により、会費収入や事業収入の減少分を補うことができたが、未だ感染が収束する兆しはみられず、こういった状況でも収益を上げられる事業運営が求められる。コロナ禍を前提とした事業の検討や、日常の細々とした節約も含めた支出の削減の工夫など、コロナ禍が続いても、将来に必要な資金を蓄えていける体質に変えていくための取り組みをお願いしたい。
- 2 コロナ禍により、会員の多くが思うような活動が出来ていない状況にある。多くの会員が倶楽部に集い、ボートを漕ぐことで、明日への活力が生まれ、倶楽部の活気も湧いてくる。そして、その活力・活気が倶楽部の事業を推進する、ひいては倶楽部を発展させる力になる。倶楽部での活動のために必要な感染対策は、惜しまずに実施し、コロナ禍でも安全・安心にボートが漕げる環境づくりをお願いしたい。そして、新たな発想で倶楽部の活性化の工夫をお願いしたい。

[4] 2021年度役員(2020年改選、任期2年)

NPO法人瀬田漕艇倶楽部 理事および監事

理事(代表)	黒田 士朗
理事(専務)	狩谷 悟史
理事(保全)	大越 将洋
理事(強化)	井原 一篤
理事(安全管理)	今村 拓也
理事(広報)	木村 俊紀
理事(施設)	中 俊久
理事(収益)	京 基樹
理事(普及)	三反崎 晋
理事(会計・財務)	坂本 春奈
理事(代表補佐、特命)	田中 彰
監事(事業)	竹内 英子
監事(会計)	太田 俊二

実行委員長及び審判長

びわこ市民レガッタ	中村 眞
Head Of The Seta	山本恭平
マシンローイング大会	猪飼 更紗
コーチセミナー	坂本 春奈
審判長	山崎 有紀

事務局

倶楽部事務担当	東 暢子
クラブ事業担当	鷹野 大郎
社会貢献事業担当	鵜瀬 正樹
管理・全般担当	今城 律雄
会計・財務担当	佐々木 真樹

[5]活動計画(案)

将来のあるべき姿

- 1.全体 地域に根差した倶楽部となるべく、会員や家族はもとより、地域市民や国内外クラブとの交流の場として、活きた倶楽部運営・Furukawa House活用を実現する。また、スポーツの振興・普及に貢献する。「チャンピオンクルーから日曜スカラーまで」実現に向けた指導体制の確立。
- 2.安全 受傷事故絶対ゼロ。
- 3.保全 会員全体がクラブ設備・備品に対して共有物である事をしっかりと認識し、それらを保全することは倶楽部員共通の義務・責務であることについて高い意識を持つ。故障・不具合が出てからの事後対応ではなく、あるべき姿を前もって手入れする事によって維持する本来の意味として保全が出来る心構え、物の扱いを倶楽部員各自が持つ事を目指す。
- 4.施設 会員が自然と交流できる空間作り、近隣からも愛される環境整備、国内外に評価される施設作り。
- 5.事務 効率的な事務業務。組織として運営できる体制にする。
- 6.特別 びわこ市民レガッタ、Head of the Seta、マシンローイング大会を運営し、150万円の利益を得る。また、行政や地域諸団体とも連携し、大津・瀬田川の風物詩となるイベントに発展させる。
- 7.普及 季節毎に水上スポーツの普及イベントを開催する。
- 8.収益 年間100万円の利益を得る。
- 9.財務 艇購入・艇庫改修のための積立を毎年確保する。
10. 広報 月一回の会報発行を継続。わかりやすいシンプルなホームページを提供。
- 11.活動 (1) 60人以上のアクティブメンバー(月に4回以上倶楽部に来る)が活動している。
(2) ボート常任コーチの設置とともに、ボート全日本選手権最終日に5クルー以上残る。
(3)一般市民が水上スポーツに触れ合う機会を提供する。

2021年度の具体的な活動計画

- 1.全体 倶楽部理念や建設の趣旨に沿ったFurukawa Houseの活用を検討・実践し、世代を超えた会員間の交流や他団体との交流を活発化する。
コロナ禍での新たな事業計画、倶楽部運営体制の検討。
認定NPO法人への寄附金優遇税制を活かした、賛助会員の拡大策の検討・実施。
- 2.安全 (1) 安全規則の随時見直し(初版2005年)。
(2) 安全講習会実施、沈回復の練習会の実施。
(3) インシデント・アクシデントレポート作成の推進。
- 3.保全 整理整頓という基本的な事を皆で行える様、まずはあるべき姿を管理、そしてそれを維持する所から取り掛かる。またクラブの設備・備品で経年劣化して来ているものについて、皆でそれらに対する情報や意識を共有できる様になる。
- 4.施設 老朽化した所の対応、使い勝手を見直した修繕計画と備品購入計画。
- 5.事務 各担当者との連携による円滑な事務作業。事務局のあり方検討とより良い倶楽部運営への貢献策
- 6.特別 びわこ市民レガッタの参加者100クルー(500人)以上。地元企業、自治体、自治会から募る。
Head Of The SETAの参加者800人以上。各ボート団体への個別交渉。
- 7.普及 ボート・ドラゴンボート・カヌーの体験教室をクラブ全体で運営し、年250人を目標とする。新たな普及活動を検討・実行していく
- 8.収益 ウェブを活用して、年間50万の収益確保に取り組む。
新たな収益財源確保に向けて具体案を検討する
- 9.財務 会計フローの整理・定着化。各理事との連携を強化する。
- 10.広報 月一回の確実な会報発行。
- 11.活動 倶楽部運営収支100万円、NPO事業収支200万円、収益事業収支50万円の計350万円の現金収支を確保するための、工夫・新たな取り組みを計画、実行
選手チームは、全日本選手権でのメダル獲得を目標とする。選手層のメンバー獲得を推進する。杉藤コーチの指導のもと、競技力強化、魅力ある選手チーム作りを進める。

[6] 2021年度NPO法人瀬田漕艇倶楽部 年間事業計画 (案)

月	日	事業名	大会日程
1	31(日)	JAPAN INDOOR ROWING 全員集合日	初漕会(中止) 全国マシンローイング近畿大会(中止)
2	28(日) 28(日)	定期総会 全員集合日	大津市民駅伝(中止)
3	28(日)	全員集合日	全国中学選抜大会(3/20) 全国高等学校選抜大会(3/26-28) 中川運河ロングレース(3/28)
4	25(日)	ドラゴンボート体験(セタジミ祭) 全員集合日	中日本レガッタ成年の部(4/17-18) 西日本選手権(4/24-25)
5	2(日) 23(日)	朝日レガッタコーチセミナー 全員集合日	朝日レガッタ(5/1-4) 京都府高校総体(5/15) 滋賀県中学校春季総体(5/20) 大津市民レガッタ(5/23) 全日本マスターズレガッタ(5/29) 滋賀県高校春季総体(5/29-30) 大阪シティーレガッタ
6	27(日)	全員集合日	近畿高校ボート選手権(6/5-6) 滋賀県体兼国体予選・県民体育大会(6/19) 関西選手権競漕大会中学の部(6/19) 京都ボート選手権兼国体予選(6/20) 全日本社会人選手権(6/26-27) 大阪府国体予選
7	25(日)	琵琶湖一斉清掃 びわこ市民レガッタ2021 事前練習会 全員集合日	関西選手権競漕大会(7/3-4) 滋賀県中学夏季総体(7/3-4) 全日本中学選手権(7/10-11) 国体近畿ブロックボート競技(7/18) 東京オリンピック(7/23-30) 関西学生新人レガッタ(7/31-8/1)
8	22(日)	滋賀銀行内レガッタ支援 びわこ市民レガッタ2021 事前練習会 全員集合日	全日本高等学校選手権競漕大会(8/16-19) びわこペーロン大会 滋賀県ジュニア選手権(8/28-29)
9	11(土) 12(日) 26(日)	びわこ市民レガッタ2021練習会 びわこ市民レガッタ2021 全員集合日	全日本大学選手権大会(9/9-12) オックスフォード盾レガッタ(9/11-12) びわこ市民レガッタ(9/12) びわ湖レガッタ(9/18-19) 京都レガッタ・高校の部(9/23) 全日本選手権(9/23-26) 全国市町村交流レガッタ薩摩川内大会
10	24(日)	全員集合日	国体ボート競技会(10/1-4) かいつぶりレガッタ(10/9) 京都レガッタ・一般の部(10/10) 中学秋季総体(10/15) 関西カヌースプリント選手権(10/16-17) 滋賀県高体連秋季大会(10/23) 全日本新人選手権(10/29-31) 全国ボートクラブ選手権
11	13(土)-14(日) 28(日)	Head of The Seta 2021 全員集合日	関西学生秋季選手権(11/初旬) Head of The Seta(11/13-14) Head of The Tsubata/ Jinzu Head of The ARA ジャパンレディーズレガッタ
12	26(日)	クリスマスパーティー 全員集合日	滋賀・京都ボート協会安全講習会

初心者ボート体験教室：5～11月第2、4日曜日10:00～ アダルトチーム練習会：毎週土日 07:45～

上記日程は変更する場合があります。変更の場合は会報およびメーリングリストにて連絡します。

[7] 2021年度予算(案)

2021年度「特定非営利活動に係わる事業会計」活動予算(案)

会費および寄付金等収入580万円、管理費815万円、事業費▲80万円、NPO事業経常収支は、▲310万円の赤字予算となる。キャッシュフローベースでは8万円。

本予算案はNZオリンピックチームの事前キャンプでの協力金を勘案しておらず、事前キャンプ代金が開催された場合はその資金がプラス要因。またコロナウイルス感染が収まらない場合は、「びわこ市民レガッタ」「Head Of Seta」で収益を100万円見込んでおり中止等になれば赤字要因となる。

倶楽部設立当初からのキャッチフレーズである「チャンピオンクルーから日曜スカラーまで」を実現すべく、倶楽部としてプロコーチを抱え、ジュニア層を含めた選手の指導体制をシニア層中心の指導中心としマスターズ、高校生層のコーチを中止しコーチ代金を減額。

収入先が決まっている当倶楽部では事業が開催されないと非常に厳しい決算となる。今より一層の節約による支出の減少を図る。

茲許、艇庫積立金を増加しておらず、目標に向けての資金確保を図っていきたい。

2021年度「特定非営利活動に係わる事業会計」収支予算(案)

特定非営利活動法人 瀬田漕艇倶楽部

科 目	2021年予算案	
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費、入会金収入		
会費	4,900,000	
入会金	300,000	5,200,000
2 その他収入		
賛助金	408,000	
賛助金	200,000	
一般寄付金		
収益事業活動収入繰入金		
預金利息		
強化補助費		
雑収入		608,000
3 事業収入		
MR大会	0	
びわこ市民レガッタ	780,000	
Head Of The Seta	1,000,000	
体験教室	300,000	
朝日レガッタ コーチセミナー		
レガッタ支援		
イベント支援(しじみ祭、ユニバ)		
ボート指導(プロコーチ)	400,000	
NTT東京合宿		
NZチーム合宿		
その他		
		2,480,000
経常収入合計		8,288,000

II 経常支出の部		
1 管理費(倶楽部運営、管理諸費用)		
給料手当	700,000	
レクリエーション費	50,000	
事務通信図書費	150,000	
会議経費	15,000	
交際費	5,000	
通信運搬費	20,000	
消耗費	400,000	
保全費	500,000	
施設費	800,000	
光熱費	600,000	
減価償却	3,200,000	
保険料	200,000	
租税公課	660,000	
支払手数料	10,000	
広告費	20,000	
選手登録費	50,000	
強化普及費	400,000	
漕艇通信発行費	250,000	
モーターボート維持費	20,000	
雑費	100,000	
		8,150,000
2 事業費		
NZ交流事業		
MR大会	0	
びわこ市民レガッタ	690,000	
Head Of The Seta	600,000	
体験教室	0	
朝日レガッタ コーチセミナー		
ボート指導(プロコーチ)	1,900,000	
その他	50,000	
		3,240,000
経常費用 計		11,390,000
経常利益		▲ 3,102,000

クラブコーチング目標と収支予算(案)

クラブコーチ事業として、収入50万円、支出(コーチ報酬)190万円を計画しており、140万円の赤字予算となる。(大会での遠征帯同費等は、従来通り強化費として支出)

2021年度 収益事業計画(案)

1) ストロークコーチ類	6万円
2) アパレル関係	1万円
3) エルゴメーター	4万円
4) FMレンタル	8万円
5) その他	1万円
	計20万円

地域スポーツ文化の創造にチャレンジしています！

出会いを大切に、スポーツライフの充実に取り組み、自らの価値を高めます！